



春日部市議会議員 佐藤 一

はじめ さとう — 後援会だより

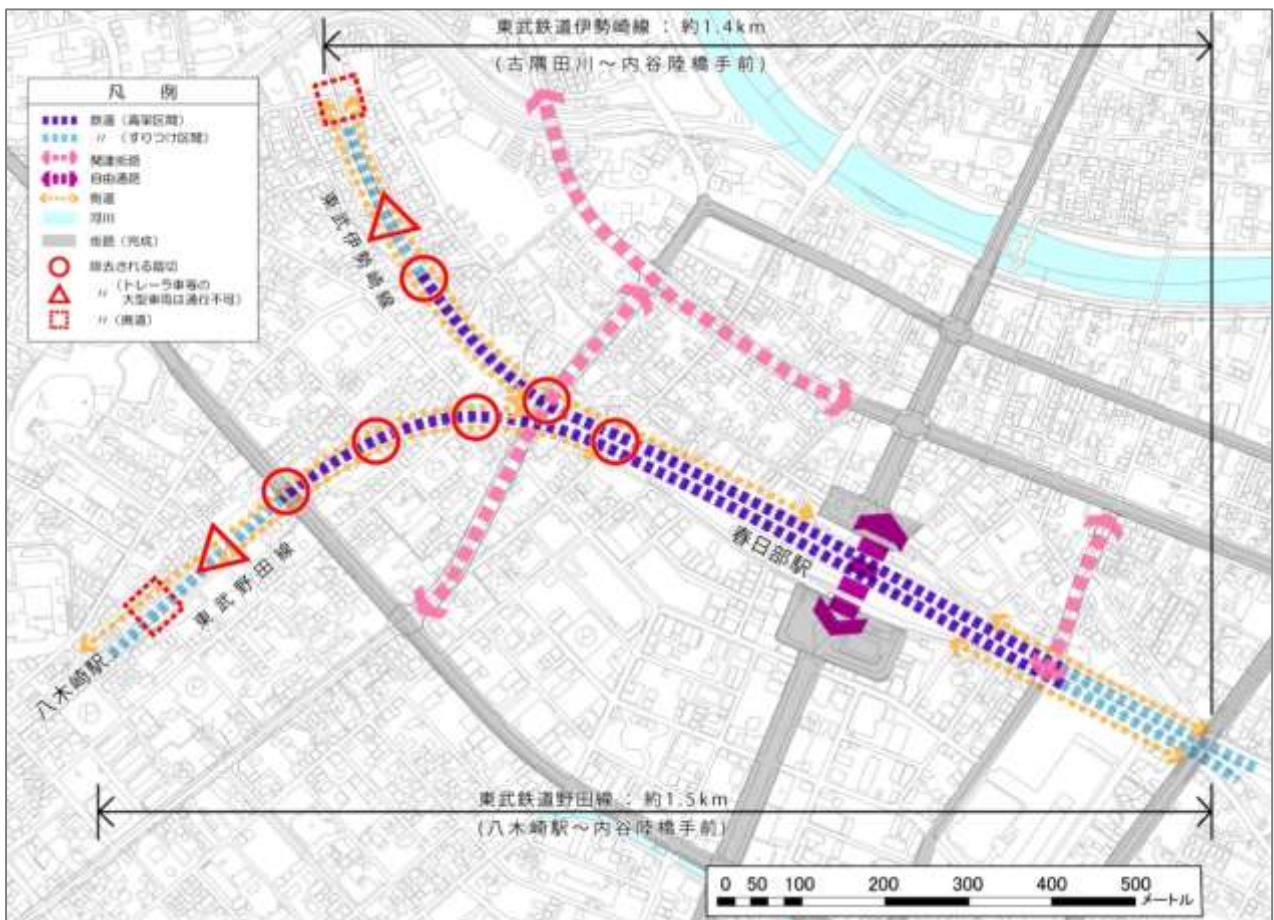
絆をつないで、
KIZUNA 活力ある、
魅力ある春日部に

後援会内部資料
第34号 発行
平成29年1月吉日
さとう — 後援会
会長 佐藤松夫
春日部市小洲 1912
Tel/fax
048-761-7753

私の一般質問（平成28年12月議会報告）

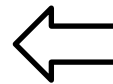
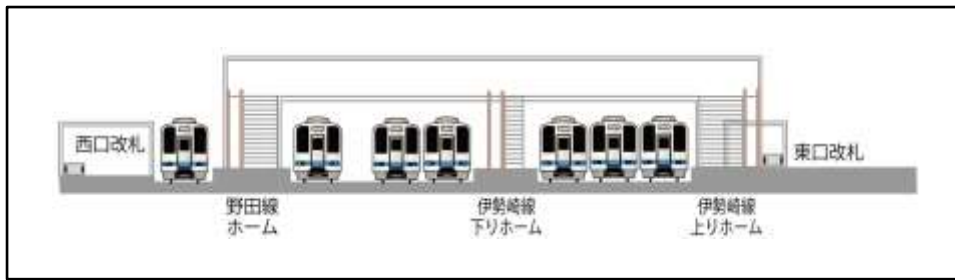
① 「春日部駅付近連続立体交差事業の進捗と今後の見通しについて」

県と市による、3つの課題（まちづくり、事業期間の短縮、財源確保）解決の検討を行っている中で輸送改善の提案が東武鉄道より有りましたが、その後の経過について、平成29年度末（平成30年3月末）までに事業認可取得について、東西通行について質問しました。



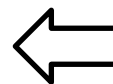
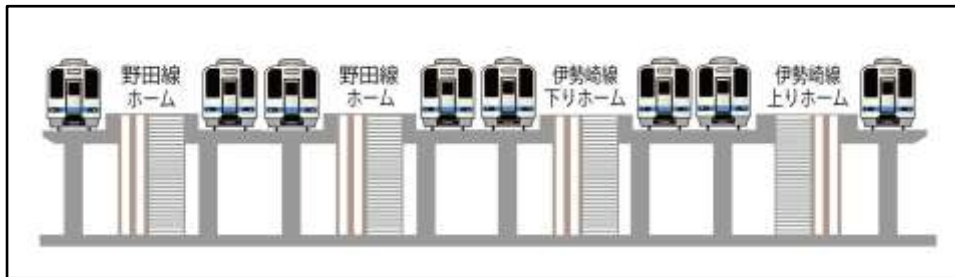
答弁 11月末に東武鉄道から示された内容は、東武アーバンパークラインホーム（東武野田線）路線2線に対し、ホーム2面、路線4線への改善です。この改善により、東武アーバンパークライン・東武スカイツリーライン直通列車のスムーズな運行や増発、将来のアーバンパー

クライン全線において、列車の追い越しや、乗換の利便向上が図れる。



現状
3面7線

※ これはイメージ図です。



計画案
4面8線

今後は、今回の輸送改善計画を3者（埼玉県、春日部市、東武鉄道）で取りまとめ、その後、国土交通省との協議に入っていく。その後、都市計画決定手続き、そして国へ事業認可の申請を行っていく。平成30年3月末までに事業認可取得については、3者合意した計画とするため、当初予定より一定の時間がかかる。東西通行については、出来る限り早い時期に東西の行き来が出来るようにしたい。工事期間中や工事着手までの対策も考えていく。

② 「エキスパート職員の活用について」

概要 これからは魅力あるまちづくりを進めていくことが、一層重要となって来ている今、エキスパート型職員（専門知識や独創性、高い政策形成能力を持つ）が求められている。これからは、複線型人事制度（特定分野のスペシャリストとして活用していく）の活用により、ゼネラリスト型職員（広く業務を的確に執行していく）とエキスパート型職員が連携協力して、新しい時代に適合した政策を生み出していく組織体制を構築していくことが重要であります。重要施策にエキスパート職員の登用について伺いました。答弁として、今後様々な見地から判断していくとの答弁がありました。

③ 12月議会概要（詳しくは全戸配布される「議会だより」をご覧ください。）

12月議会は、条例改正として、① スイッチOTC薬（医療用から転用された医薬品）控除の導入→平成30年度から平成34年度までの年度分に限り、1万2千円を超える額を控除する。（現行の医療費控除との選択制）、② 春日部市立中央図書館の指定管理（図書館流通センターに決定）③ 指定管理に伴う図書館運営審議会条例の制定、手数料条例（道路台帳等の写し等、1件200円徴収）の改正、④ 臨時福祉給付金給付事業（平成29年4月頃予定、対象者1人につき15000円、諸条件あり）⑤ 一般会計補正予算について（主なもの）は、小学校施設修繕（川辺小トイレ、小淵小給食室、立野小トイレ、粕壁小外壁）、中学校施設修繕（緑中学校エレベーター修繕）、義務教育学校整備事業（江戸川中学校校舎の設計等）です。



これからも、「さとう一^{はじめ}」は、市民の皆様の為に頑張ります!!

公式ホームページ <http://satouhajime.com/>

※ ブログ・facebookページもあります。

